

区分・種別	登録有形文化財（建造物）		
名 称	きゅうさのけじゅうたく（あきないとくらしはくぶつかん） 旧佐野家住宅（商いと暮らし博物館）		
所 在 地	内子町内子		
所 有 者	内子町	管 理 団 体	
登録年月日	令和6年12月3日		
解 説	旧佐野家住宅は内子町の中心部である六日市地区に位置する、薬の卸売・小売を営んだ商家である。昭和61年(1986)に内子町が土地建物を購入し、調査、改修を経て、現在は「内子町歴史民俗資料館」として当時の商家の生活を再現しており、町内の歴史を伝える拠点として活用されている。 主屋は2階建て切妻造棧瓦葺で、江戸末期の建築とされる通り土間式の棟と、明治43年(1910)に増築された前土間式の棟とが隣接し、一体となっている。 土蔵は2階建て切妻造棧瓦葺で、かつては酒蔵として使用されていた。明治後期の建築であるが、小屋組にトラスを用いず、伝統的な登梁を用いる点が古式である。 離れは2階建て入母屋造棧瓦葺で、各階の建ちが高く、2階座敷を設ける点や、建物全体にガラス戸を多用する点などから、昭和初期の離れの特徴をよく残している。		

